

News Letter

2016.09
Vol. 08

Contents

- 女性医師交流会開催
- 意識啓発セミナー開催予告
- 長崎大学キャリア教育見学
- インタビュー File7 津下遥香先生

女性医師交流会を開催

活動報告

7月27日(水)と8月2日(火)の2回にわたり、大分大学医学部附属病院に所属する女性医師を対象に『女性医師交流会』を開催しました。

7月27日には14名、8月2日には20名の女性医師の参加がありました。

日頃同じ病院に勤務している女性医師達ですが、所属する医局が違っていると、なかなか話をする機会がない。ぜひ医局を越えた交流をしたいとの意見が以前より多数あり、今回実現出来ました。

会ではまず初めに、女性医師のお話しとして(7/27 皮膚科 竹尾直子先生、8/2 循環器内科 長野徳子先生)ご自身のキャリアや私生活、これまでの歩みやまたこれからの課題など、プライベート満載でお話しいただき、参加された方々も真剣な表情で話に聞き入っていました。

その後は、参加者全員による自己紹介、そして自由な懇談がされました。皆、所属や立場やプライベートなど環境が違っても、女性であり、医師であるという共通点から、それぞれの仕事や子育てに関する話などを軽食を取りながら和やかに歓談していました。

参加された方からは「普段ゆっくり話をする機会のない他科の先生を話が出来てよかった。また参加したい」との感想をいただきました。



歓談の様子

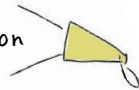


発表(長野先生)



お知らせ

information



2016年9月15日(木)

平成28年度第1回女性医療キャリア支援センター意識啓発セミナー開催

宮崎大学の小松弘幸教授をお迎えして、意識啓発セミナーを開催いたします。

「医療人夫婦のワークライフバランス～夫は変わる？変えられる？」
「キャリアは誰のためのもの？」と題し講演いただきます。

前座では、**血液内科と産婦人科**の「**復帰・継続・活躍支援の取り組み**」の発表もごさいます。

皆様お誘い合わせの上、是非ご参加お待ちしております。

日時：9月15日(木) 18:00より
場所：臨床講義棟 臨床中講義室

*無料託児サービスも受け付けております、9/7までにお申込み下さい。



◆小松先生からメッセージ◆

家では麻酔科の奥さんと3人の男の子に囲まれて慌ただしい毎日。大学では研修医と医学生の叱咤激励とお世話係をしながら、宮崎の医師養成システム構築と若手医師確保に奔走中。自分の摩訶不思議なキャリアに首をかじげつつ、「自分に何ができるか」を日々自問自答しながら生きています。今回のお話しが少しでも皆様のお役に立てれば幸いです。

活動報告

長崎大学医学部3年生「医と社会」学生キャリア講習会見学

平成28年7月4日(月)長崎大学医学部3年生の「医と社会」教育の一環で、『ワークライフバランス』の授業を見学してきました。

1時限から4時限までの1日をかけて、「医師としてのキャリア継続のため、ワークライフバランスの考え方を知るとともに、医師としての多様な生き方があることを学ぶ」ことを目的として取り組んでいました。

長崎大学ダイバーシティ推進センター教授(副学長)・長崎大学病院メディカル・ワークライフバランスセンター長 伊東昌子先生が「医師にとってのワークライフバランスとキャリア形成を考える」と題して講義をした後、学生は14グループに分かれて、仕事と育児の両立を目指す共働き夫婦が問題に直面した時にどのように解決していくかの事例を3ケースについて、グループ討論を行いました。

その後の発表では、ロールプレイング形式を取り入れ、学生が夫婦役や子供役、職場の上司役、実家の両親役などしてその役になりきった発言などがとても印象深いものでした。

その後もロールモデルとして先輩医師の講演があり、学生たちは近い将来に起こりうる岐路をイメージし、色々なパターンの想定を立ててキャリア形成を考えていく必要があることを感じられる、貴重な機会になったようです。



グループ討論の様子



ロールプレイングの様子

このコーナーでは、大分大学医学部附属病院で働く医療人の方々の声をお届けします。
今回は、挟間キャンパスに薬剤師として勤務する津下先生にお話を伺いました。

インタビュー

薬剤部 津下 遥香 先生

挟間キャンパスに勤務4年。病棟配属で、忙しいながらも充実した日々を送っています。

File 7

勤務形態はどのような感じですか？

常勤で、夜勤は月に2回あります。
時々、残業になることもあります。

薬剤師になったきっかけは？

身内に薬剤師がいて、また医療関係の身内もいたので、自然とこの道に進んでいました。

大学病院勤務を選んだのは？

やはり、薬局と違い病院は患者さんに接する事ができ、しかも大学病院ではここでしか使われない薬などを取り扱う為、大変勉強になっています。

休日どのように過ごしていますか？

家でゆっくり過ごすことが多いですが、友人と食事に行ったりしてリフレッシュしたりもします。

仕事にやりがいを感じるの、どんな時ですか？

病棟配属なので、患者さんと接する機会も調剤室勤務時より多く、患者さんから直接「ありがとう」と言われると嬉しいです。

今後のキャリアアップについてどのように考えてますか？

今はまだ日々の業務に追われ、なかなか勉強の時間がとれませんが、これからもっと色々な専門分野の資格を取っていきたいです。

